

スマートフォン系アプリ経験者の需要高、単価高 ニアショア開発拠点の人気エリアは札幌、沖縄

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

【システム業界全般について】

2013年1月から3月のシステム開発の案件数は、音楽、映像、動画などのリッチコンテンツの利用拡大や書籍などのコンテンツサービスの普及を背景に、スマートフォン関連の開発案件を中心に増加傾向でした。4月から9月のシステム開発の案件数も引き続き好調に推移しています。最近の目立った動きとして、通信会社大手がモバイル回線のさらなる高速・大容量データ通信サービスを目指しインフラ設備増強を行う影響で、多くのエンジニアが関連案件に確保されているそうです。

また、大手金融会社の超大型のシステム統合プロジェクト等が開始された影響で国内のエンジニアが関連案件に確保されエンジニア不足の状況が続いていましたが、下流工程ではオフショア開発を採用するケースが多いため、超大型案件の恩恵は国内に広いき渡らないとみられます。

最近、大手SI会社を中心に東南アジアや国内地方都市に開発センターを開設したという話をよく耳にします。長らく日本のオフショア開発の委託先というと中国が最有力でしたが、中国におけるエンジニア単価の高騰や社会情勢などを受け、現在ではより人件費の安いベトナム、カンボジア、タイ、マレーシアといった東南アジア各国が人気だそうです。一方で、オフショア開発の課題である品質管理・納期管理などのリスク回避から、比較的距離の近い遠隔地へ開発を委託する日本国内でのニアショア開発が注目を集めていると聞きます。国内地方都市の地域の選択理由として、エンジニアの単価が比較的lowコストである札幌、沖縄が人気ですが、中でも納期管理の評価の高さから札幌が人気だそうです。

4月から9月に新規で基幹業務システムの導入を検討する企業は、増加傾向にあり、特に8月お盆休み以降に引き合い件数が伸びているそうです。

【エンジニアについて】

2013年4月から9月のエンジニアの需要は一般的にやや上昇傾向です。SE(システムエンジニア)レベルのエンジニアの需要が高まり不足しているため単価は増加傾向です。しかし、PG(プログラマー)の需要は横ばいで、単価や需要に影響はないそうです。開発分野別の単価は、スマートフォン系アプリ開発経験者の需要が高く、業務システムのエンジニア単価と比較すると1割程度高いそうです。

*文中に記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

■株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：統合型基幹業務パッケージ(ERP)「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL：<http://www.bbbreak.co.jp/>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：岡部、木塚

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7854 / E-MAIL：info@bbbreak.co.jp